

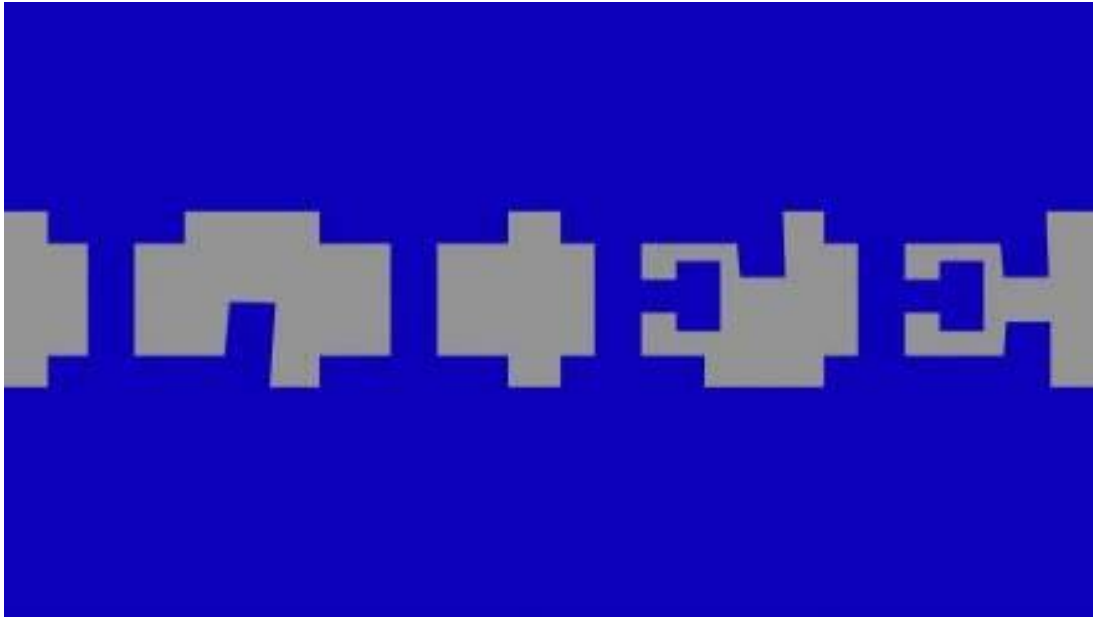
令和3年11月15日



西中学校通信 第15号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

視野を広げる



これは有名な錯視（目の錯覚）の図であり、この中には、英単語が1字書かれています。すぐに見えた人もいるでしょうし、見えない人もいることでしょう。見えない人は、中央の黒い部分に注目するか、少し遠くから見るようにしてください。見えませんか。

全体の黒色の中に白色があると、白色に目がいきがちになります。人間のその習性を利用したものです。

これは目の錯覚を利用したのですが、人間には、だれにでも「心の錯覚」もあるように思います。特に人間関係において、「心の錯覚」が引き起こすトラブルが多くあるように思います。

よく「視野を広げる」と言いますが、「広げる」とは、見える範囲・考える範囲を広げることだけでなく、多くの角度から物事を見たり、考えたりすることができるようになることだと思います。

人間関係で言えば、「自分中心」の物の見方、考え方から「相手の立場に立った」物の見方考え方ができるようになることが、「視野が広がる」ことではないかと思います。

「あの人は、こんな人だ。」と書いていても、その人の一部分だけを見て「心が錯覚」しているだけかもしれません。

あなたに対する配慮や優しさも、あなたの「心が錯覚」していれば、その優しさに気づくことはできないでしょう。

時には、自分の「正義」を疑うことも視野を広げるためには必要なことかもしれません。

感謝 感謝 感謝 生徒会あいさつ運動 ボランティア

毎週水曜日の朝、生徒会本部の皆さんが正門と裏門であいさつ運動を行っていますが、そこに自主的に参加し、一緒にあいさつをしてくれている人たちがいます。

これまでの参加者のみなさんに感謝と敬意を込めて、ありがとうございます。

1年生 17名

2年生 21名

3年生 19名

感謝 感謝 感謝 学校ファーム ボランティア

今回も、1年生と2年生が協力してくれました。

参加者のみなさんに感謝と敬意を込めて、ありがとうございました。

1年生 17人

2年生 9人

西中生の活躍

○伊藤園おーいお茶新俳句大賞

佳作特別賞 2年生 1名

佳作 2年生 3名

○バスケットボールU-15 西部支部強化選手

3年生 2名

○バスケットボールU-14 西部支部強化選手

2年生 2名

○第20回埼玉県中学生女子ソフトボール大会

3位 1年生 1名